



～変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変える～

アステラス製薬とは

- **アステラスの誕生**
 - ・2005年、山之内製薬と藤沢薬品工業の合併により発足
 - ・全く新しい会社を創生することを目指し、「星」を意味する言葉に由来するastellasという社名に
 - ・日本語の「明日を照らす」にもつながります
- **アステラスの経営理念とビジョン**
 - ・存在意義：先端・信頼の医療で、世界の人々の健康に貢献
 - ・使命：企業価値の持続的向上
 - ・ビジョン：変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変える
- **2017年3月期業績**
 - ・売上高：1兆3,117億円
 - ・コア営業利益：2,746億円

経営計画2015-2017

- **3つの取り組み**
 - ・製品価値の最大化、イノベーションの創出、Operational Excellenceの追求により持続的な成長を目指します
- **イノベーションの創出**
 - ① 重点研究疾患領域として従来の領域（泌尿器、腎疾患、がん、神経科学、免疫科学）に加え、新たに筋疾患、眼科領域を追加
 - ② 次世代型ワクチンや細胞医療など、新たな技術や治療手段への挑戦
 - ③ 社外とのネットワーク型研究体制も最大限に活用し、革新的な新薬の創出を目指す
- **目指す経営指標**
 - ・ROE15%以上：経営計画期間以降も継続的に維持向上に取り組みます

選択と集中、グローバル展開

- **新薬ビジネスへの集中**
 - ・医療用医薬品事業に経営資源を集中
 - ・世界50か国以上で自社販売し、日本、米州、EMEA(※)、アジア・オセアニアの4極でバランスよく展開

(※) EMEA: 欧州・中東・アフリカ
- **主要領域**
 - ・従来から強みを持つ泌尿器領域、移植領域に加え、合併後に重点研究疾患領域に設定したがん領域の急速な立ち上げに成功
 - ・3領域の売上高で50%超を占有
 - ・前立腺がん治療剤XTANDI/イクスタンジ、泌尿器OAB(過活動膀胱)領域の売上高が成長をけん引

株主還元への取り組み

- **基本方針**
 - ・資金の使途としては、成長を実現するための事業投資を最優先
 - ・中長期的な利益成長に基づく安定的かつ持続的な配当水準の向上
 - ・機動的な自己株式取得の実施
- **配当/自社株買い**
 - ・2005年度以降、安定的かつ継続的に1株あたりの配当を増加
 - ・2017年度は1株あたり36円の配当(2円増配)を予定
 - ・2016年度実施した自己株式取得：6,000万株(取得価額の総額：914億円)